

報道関係者 各位

「おかげ横丁 風の市」開催のお知らせ

(諸事情により内容に一部変更が生じることがございます。予めご了承ください。)

伊勢神宮では、雨風の神様に笠や蓑を奉り、五穀豊穡を祈る「風日祈祭」が5月14日に執り行われます。これに合わせ、おかげ横丁では、伊勢の爽やかな風を五感で感じる催し「風の市」を開催します。

たなびく吹き流し、気持ち良さそうにくるくる回る風車、チリンと鳴る風鈴の音色。町をぶらりと歩き、心地よい伊勢の風を楽しみながらお気に入りを見つけてください。



おかげ横丁 風の市

◇開催日時：令和3年5月14日（金）～5月23日（日）10：00～17：00

※催しによっては開催日時が異なるものもございます。

◇開催場所：おかげ横丁一帯

*催事に関するお客様のお問い合わせは、おかげ横丁総合案内 0596-23-8838

※新型コロナウイルスの感染拡大状況により、開催期間や内容が変更となる場合があります。
※例年開催している体験講座につきましては、現在の状況を鑑み本年の開催を見送ることとなりました。

報道関係者様用

お問い合わせ先

株伊勢福 広報/大谷和佳子
TEL : 0596(23)8827 FAX : 0596(23)8814 mail : w_otani@isefuku.com



風鈴の市

種類さまざまな風鈴を展示販売いたします。

おかげ横丁一帯に響き渡る涼しげな音色をお楽しみください。

場所：赤福別店舗側特設屋台

——風鈴（横丁サイダー）

二見在住のガラス作家・中村一也氏による、おかげ横丁の「横丁サイダー」の空き瓶を使った風鈴。淡い水色のガラス部分からのびる短冊が風にそよぐと、リンリンと高い音が響き、夏の到来を知らせます。

夏の風物市

うちわやせんす、手ぬぐいなど夏が待ち遠しくなるような品々を揃えました。

場所：赤福別店舗



かざひのみさい

風日祈祭とは

伊勢神宮にて執り行われる祭典で、風雨の災害なく五穀が豊かに稔るようにと祈願する祭りです。現在は、五月十四日と八月四日の二度、外宮、内宮、その他の社で神事が執り行われます。

伊勢神宮には両宮にそれぞれ雨風の神様をまつる別宮があります。内宮は風日祈宮^{かざひのみのみや}、外宮は風宮^{かぜのみや}といい、どちらも級長津彦命^{しなつひこのみこと}、級長戸辺命^{しなとべのみこと}がご祭神です。

もともとは「風神社」と呼ばれていた「社」でしたが、鎌倉時代に2度の元寇があった際、この両風社^{かぜのやしら}の吹かせた神風によって撃退できたとされ、その功績として別宮に昇格しました。



同時開催 企画展「幟旗の展示」

江戸時代、男の子の健やかな成長を願って家の前などに色鮮やかな幟旗が飾られました。もともと武士の軍旗だったものが、時代を経て子供の成長を祈る庶民の文化となったといえます。

雨風にさらされる消耗品であったことから、現存するものが少なく、現在では貴重なものとなりました。今回は江戸から明治期に制作された職人による幟 45 点を展示いたします。

令和3年4月29日（木・昭和の日）～5月23日（日）まで

場所：おかげ横丁大黒ホール（入場無料）



五虎將軍（江戸時代末期・19世紀）

